

個人投資家の皆様へ

株式会社アイシン（証券コード：7259）
グループ経営戦略本部 執行幹部
福重 友治

2025.7.1



アジェンダ

1. 企業紹介
2. 30年に向けた成長戦略
3. 企業価値向上に向けて

1. 企業紹介

2. 30年に向けた成長戦略

3. 企業価値向上に向けて

1

1分でわかるアイシン

今年60周年

AISIN

設立

60TH

1965年

(愛知工業と新川工業が合併)



売上高

約**4.8兆円**

(2024年度)



自動車部品
売上ランキング^{※1}

世界7位・国内2位



グローバル拠点

192社

(2024年度末時点、持分法適用会社除く)



グローバル従業員数

約**11万人**

(2024年度末時点)



時価総額

約**1.4兆円**

(2025年6月30日時点)



株価

1,847円

(2025年6月30日時点)



配当利回り

3.52%

(2025年6月30日時点)



PBR

0.62倍

(2025年3月31日時点)

*1:2023年1月~12月 売上収益 出典「Automotive News」



“移動”に感動を、未来に笑顔を。

自動車部品メーカー

トヨタグループの一員
主要株主
トヨタ自動車 (21.35%) ※2

走る (駆動ユニット・熱マネジメント)

世界シェア
NO.1



オートマチック
トランスミッション (AT)



ハイブリッド
トランスミッション (HEV)



eAxle※1

走る・曲がる・止まる 全ての領域に渡る製品群

曲がる・止まる (ブレーキ・運転支援他)



回生協調ブレーキ

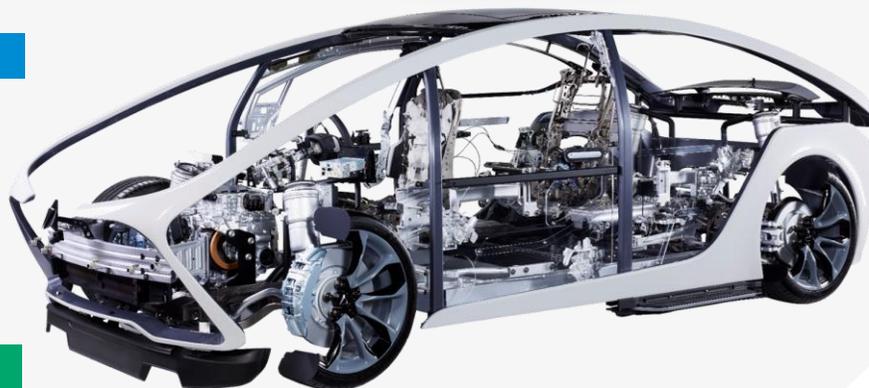


電動パーキング
ブレーキ

国内シェア
NO1



自動駐車システム



安心・快適 (ドア・空力)

世界シェア
NO1



パワースライドドア

国内シェア
NO1



サンルーフ



パワーバックドア

カーメーカー並みのテストコース保有
国内2拠点・北米1拠点



新製品の試乗会

情報・サービス・アフターマーケット他



補修部品・用品



ジームス小牧南店運営



乗り合い送迎サービス
「チョイソコ」

カーメーカーに一番近いクルマをよく知る自動車部品メーカー

※1:電気自動車の動力源となる電動ユニット ※2:2025年3月31日現在 発行済株式 (自己株式を除く。) の総数に対する所有株式数の割合 (%)

事業別売上収益

LBS*他



乗り合い送迎サービス
「チョイソク」



カーナビゲーション



リアルタイム音声認識アプリ
「YYSystem(ワイワイシステム)」

エネルギーソリューション他



家庭用
コージェネレーションシステム



ガスヒートポンプ
エアコン (GHP)

国内シェア
NO1

2.9%
1,432億円

2.5%
1,203億円

19.2%
9,378億円

20.7% 1兆144億円

売上収益
(2024年度)
4兆8,961億円

54.7%
2兆6,801億円

パワートレイン



eAxle



オートマチック
トランスミッション

世界シェア
NO.1

走行安全



回生協調ブレーキ



自動駐車システム

車体



パワースライドドア



サンルーフ

世界シェア
NO.1

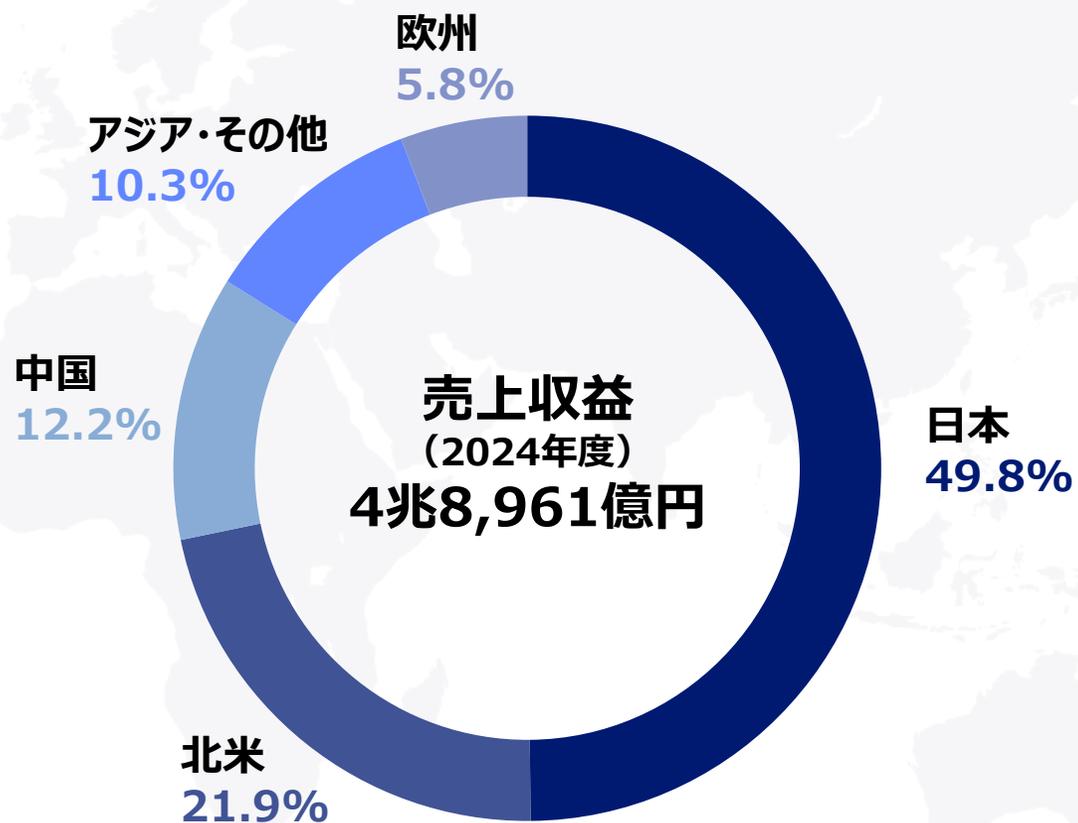
国内シェア
NO1

幅広い事業領域でクルマの「走る」・「曲がる」・「止まる」に貢献

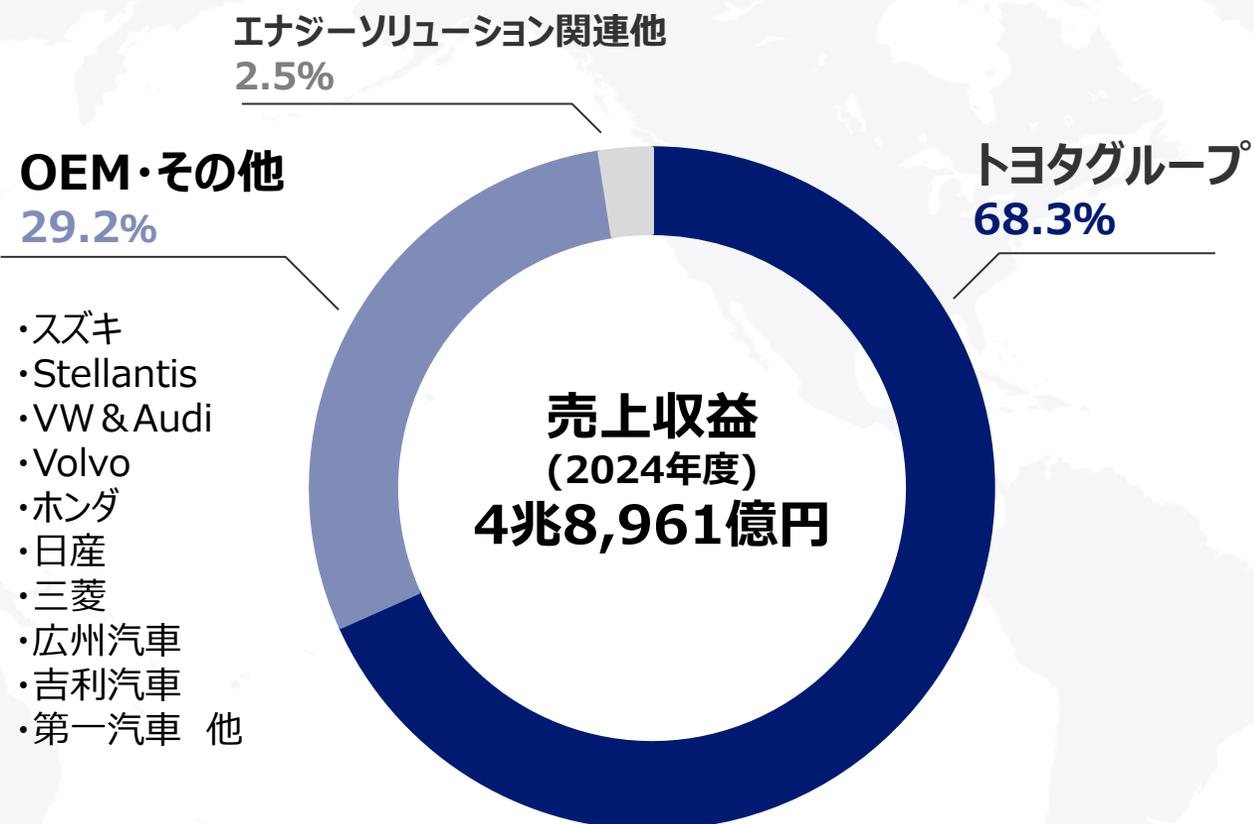
※ LBS : Location Based Service (位置情報活用サービス)

地域・顧客別売上収益

地域別売上収益



顧客別売上収益



グローバルに事業を展開・世界の主要カーメーカーと取引

新規事業(YYSystem)

YYSystemとは

発話
環境音
カメラ

会話や環境音を
絵と文字で可視化

多様性に配慮して
意思疎通を支援

聴覚障がい者 高齢者 外国人

リアルタイムで
多言語会話できる

オノマトペや
笑い声を
文字やアイコン
にして表示

救急車や電車の
接近がわかる

利用シーン

騒々しい駅構内や
工場での会話にも

企業・自治体の
窓口のコミュニ
ケーション支援

リアルタイムな文字起こしが実現可能
騒音環境下でも変換率、認識精度が高く、
周囲の反応や話者の感情、会話の雰囲気まで伝えられる

発話や音を可視化する「意思疎通支援」アプリケーション
(アイシン自社開発)

鉄道やホテルなどに導入



阪急電鉄



東急ステイ

Microsoftが全世界で紹介※



<https://www.youtube.com/watch?v=ceV3RsG946s>

※Microsoft Build : 毎年開催されるMicrosoft社主催の開発者向けイベント

「いつでも、どこでも、誰とでも会話ができる」ことを目指し、幅広いユーザへ導入拡大

エネルギー(ペロブスカイト太陽電池)

ペロブスカイト太陽電池は、
薄型・軽量・曲がるという特徴がある次世代太陽電池

大林組と共同実証実験

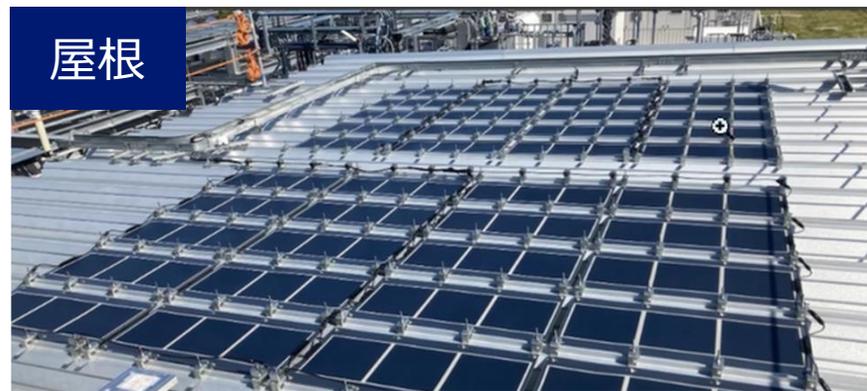
容易に交換できる工法と
年間発電量を最大化する設置方法を検証



ファスナー取り外し式工法

弊社安城工場での実証実験

方角や日射強度による発電量の差異や、
施工時間・コスト、異常管理などを検証



屋根



壁面

実証で得られる知見をもとに、早期実用化に向けた技術開発を推進

1. 企業紹介

2. 30年に向けた成長戦略

3. 企業価値向上に向けて

2

自動車業界は大変革期の真ただ中

カーボン
ニュートラル

電動化

知能化

自動車業界を取り巻く産業構造が大きく変化

アイシンのフルラインアップ戦略

電動ユニット搭載



プラグインハイブリッド車
ハイブリッド車
(PHEV/HEV)



ハイブリッド
トランスミッション



バッテリーEV車
(BEV)



eAxle



エンジン車
(ICE)



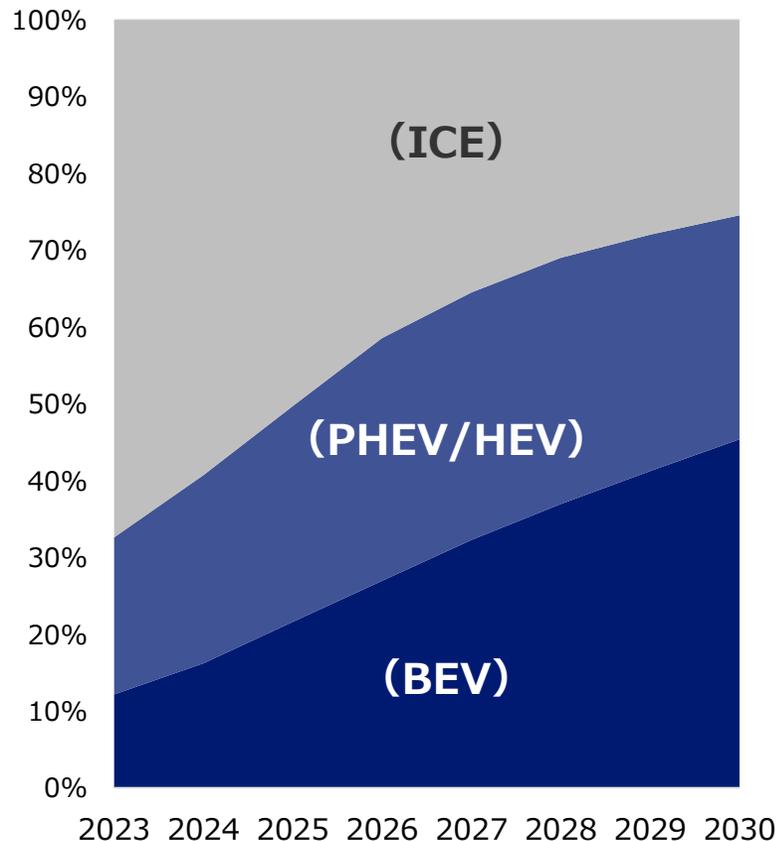
オートマチック
トランスミッション (AT)

アイシンはフルラインアップ戦略を掲げ、様々な地域やユーザのニーズに応える

自動車市場の環境変化

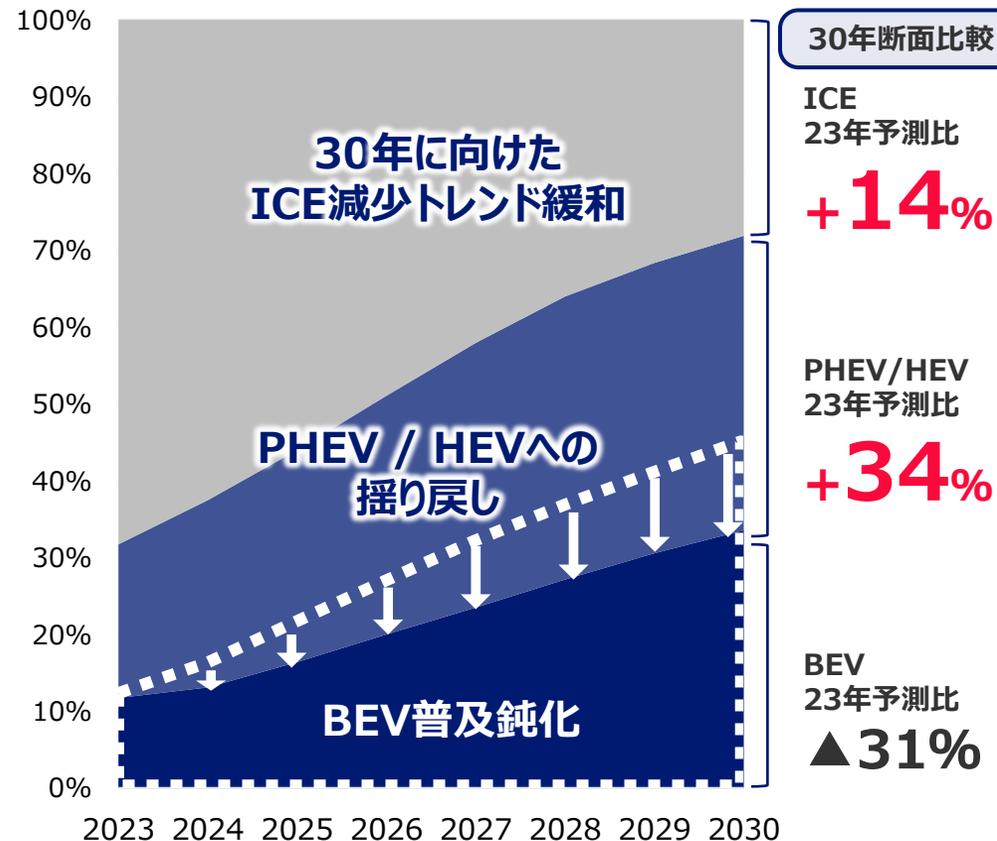
市場予測 (2023年) ※現中期経営計画公表時点

23年時点の予測では30年にかけてBEVが急伸



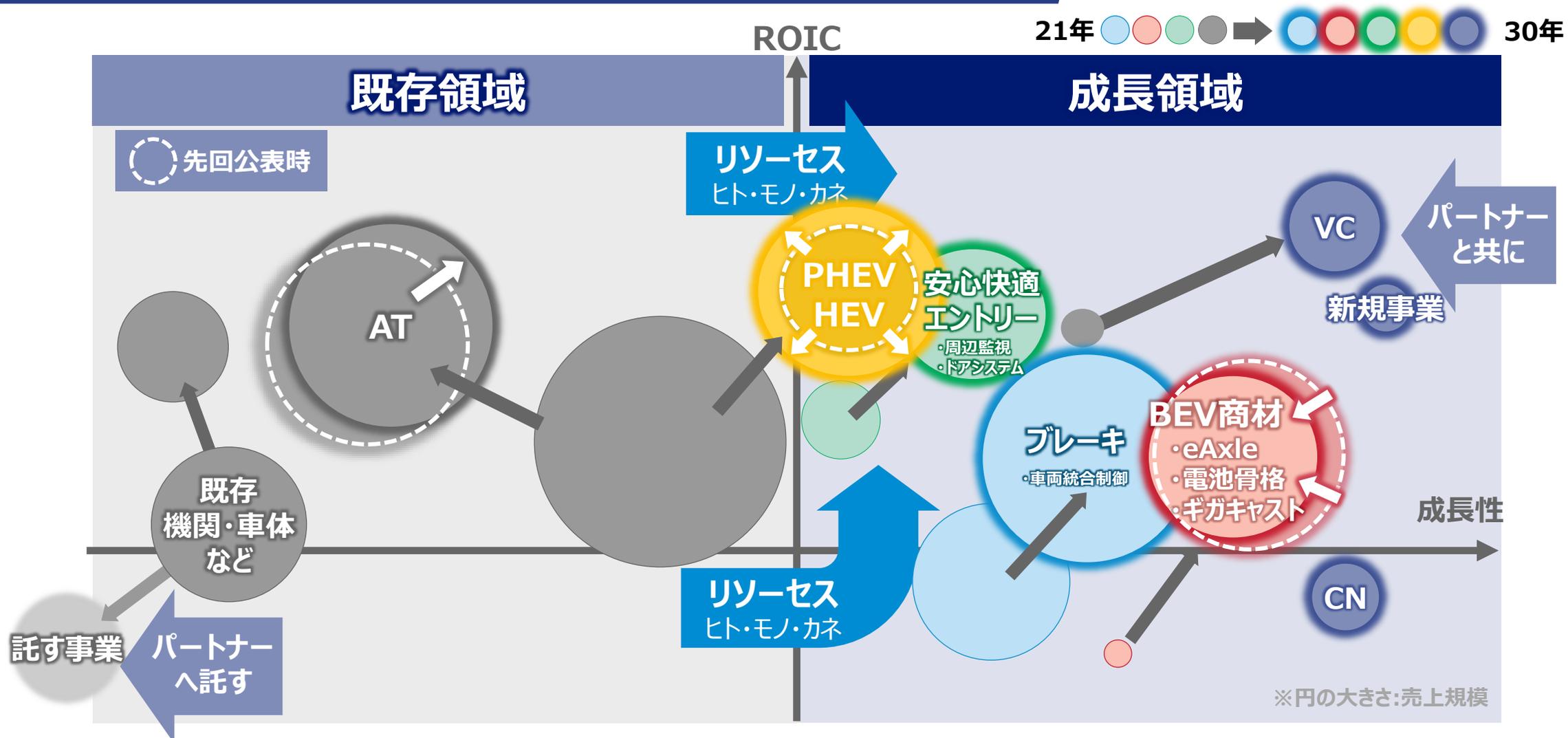
同 最新見通し

BEVの鈍化でICE、PHEV/HEVのオポチュニティが大きく拡大



フルラインアップ戦略が奏功し、アイシンが競争力を最大限発揮できる環境に変化

30年を見据えた事業ポートフォリオ



AT・PHEV/HEVの収益拡大を軸に、事業ポートフォリオ変革を一層加速

30年目標

走る・曲がる・止まるを支える製品群

パワートレイン



eAxle(150kw)



eAxle (80kw)



FF1モーター
ハイブリッド
トランスミッション

車体



パワースライドドア
システム



ロッカーEA材

走行安全



自動駐車システム



回生協調
ブレーキシステム

LBS (Location Based Solutions)



乗り合い送迎サービス
「チョイソコ」



カーナビゲーション

アフターマーケット



補修部品・用品

売上収益

5.5-6.0兆円

営業利益率

8%以上

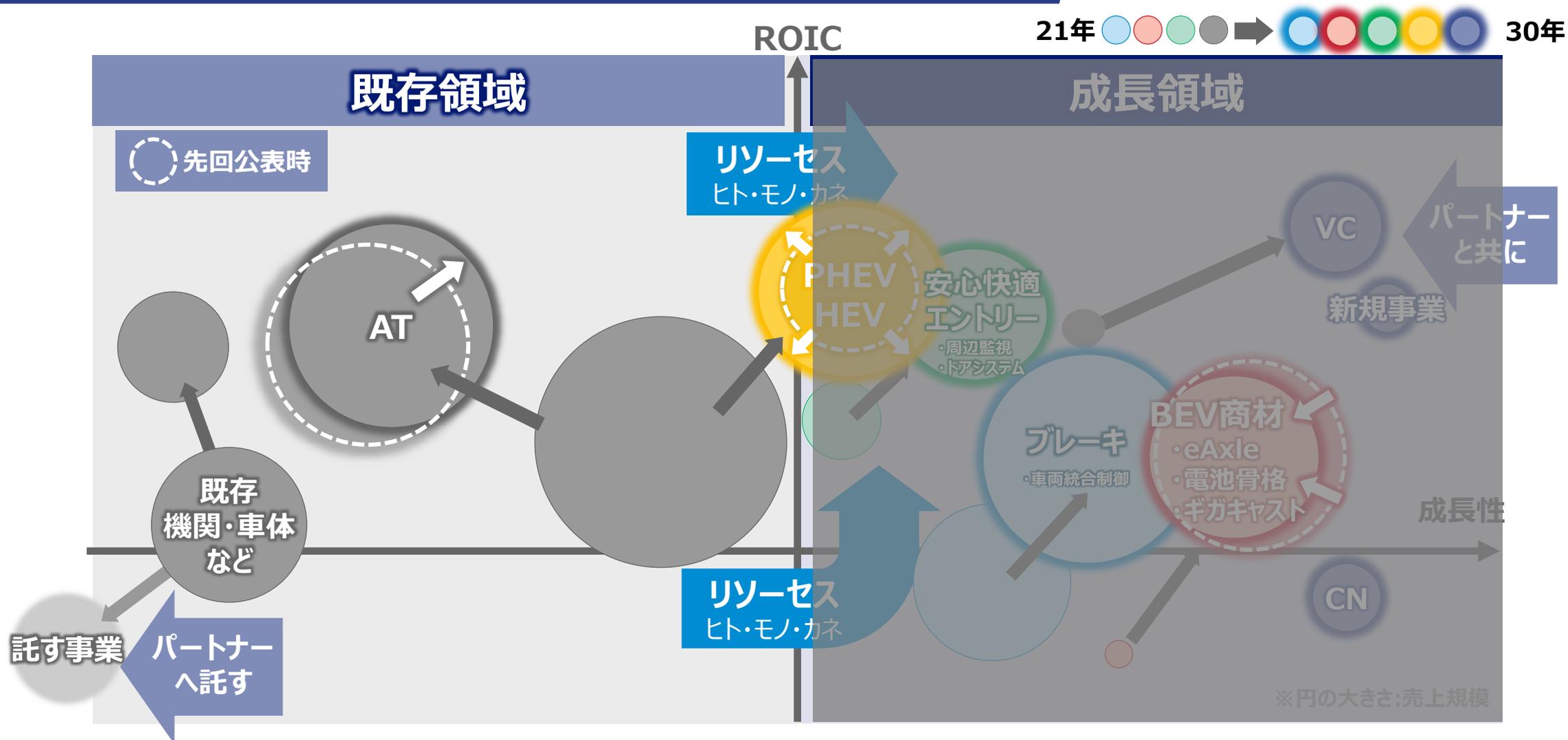
ROIC

13%以上

ROE

12%以上

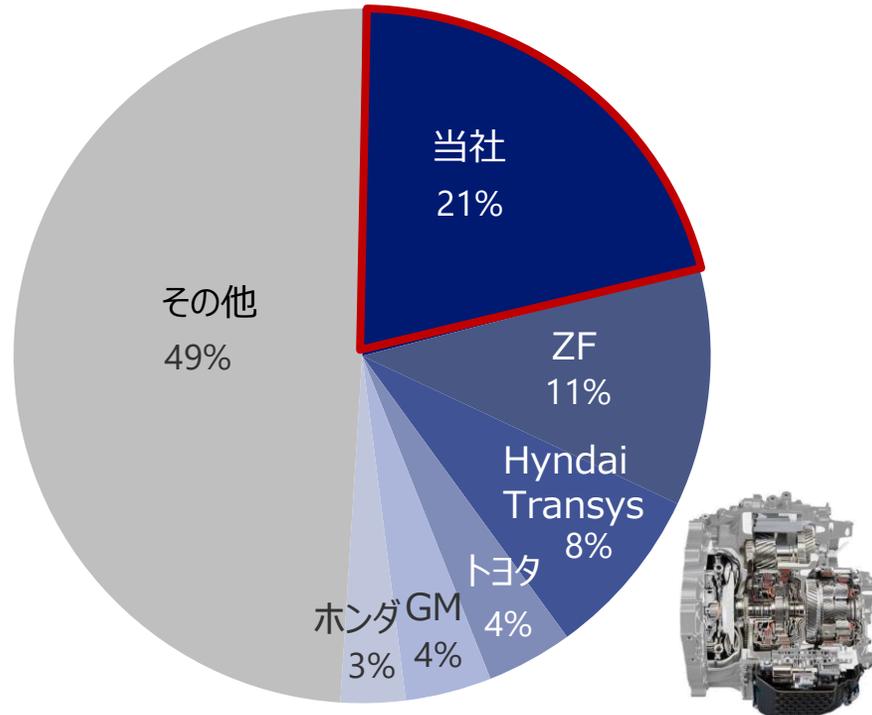
30年を見据えた事業ポートフォリオ



AT・PHEV/HEVの収益拡大を軸に、事業ポートフォリオ変革を一層加速

AT戦略

ATのグローバル市場シェア※



オートマチックトランスミッション
世界シェアNo.1

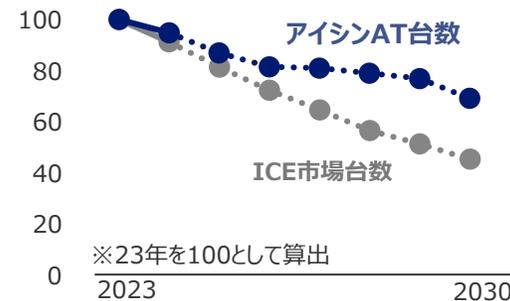


ATの重点戦略

- ①南米・インド等の新興国エンジン車需要取込
- 新興国におけるエンジン車の需要は引き続き底堅く、投資は最小限に抑えつつ、拡販による需要取込を狙う
- ②OEM内製取込のオポチュニティ
- 複数社と協議中
- ③FR（後輪駆動）の台数確保

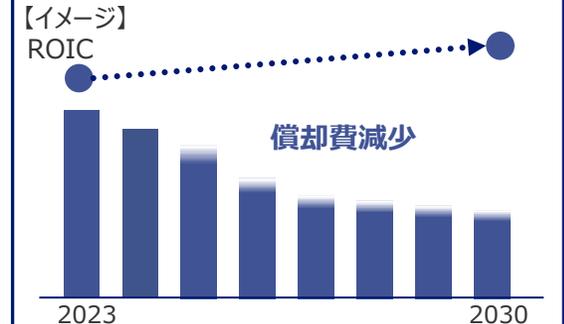
AT分野におけるシェアの拡大

新興国需要等の獲得により
市場台数対比で緩やかな減衰



収益イメージ

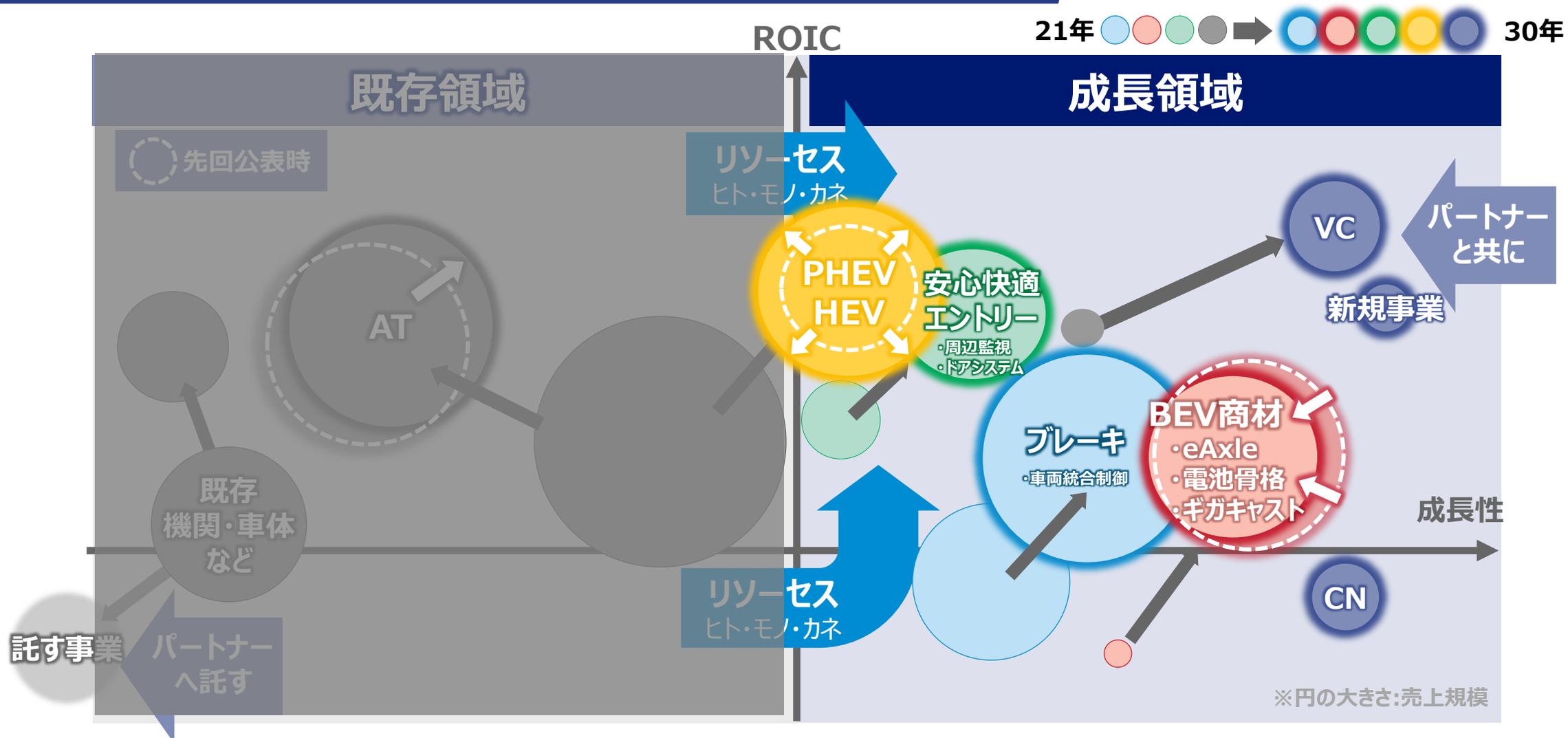
既存設備を有効活用し
30年にかけてROICは向上



シェアアップによる残存者利益の享受と、既存拠点・設備の使い切りで高収益を実現

※Marklines2023年時点の市場シェア

30年を見据えた事業ポートフォリオ



AT・PHEV/HEVの収益拡大を軸に、事業ポートフォリオ変革を一層加速

電動化商材

電動ユニット(eAxle・HEV)



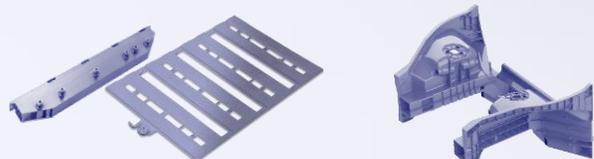
小型化
Xin1
HEV
電費向上10%以上(含インバータ)

熱マネジメントデバイス



冷却モジュール
冷媒モジュール

電池骨格・ギガキャスト



ロックEA
バッテリーヒートシンク
アルミ
ボデー骨格

コンポーネント
高効率・小型化の追求
部品統合から機能統合へ

アイシン製品搭載により
電費向上
18%以上

※25年断面(21年10%以上が現在18%以上に)

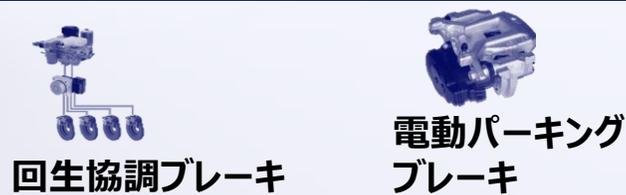
制御
運動制御から統合制御へ

車両統合制御



電費向上2%以上

ブレーキ



回生協調ブレーキ

電動パーキング
ブレーキ

電費向上2%以上

空カデバイス



グリルシャッター
フロントスポイラ
リアスポイラ

電費向上4%以上

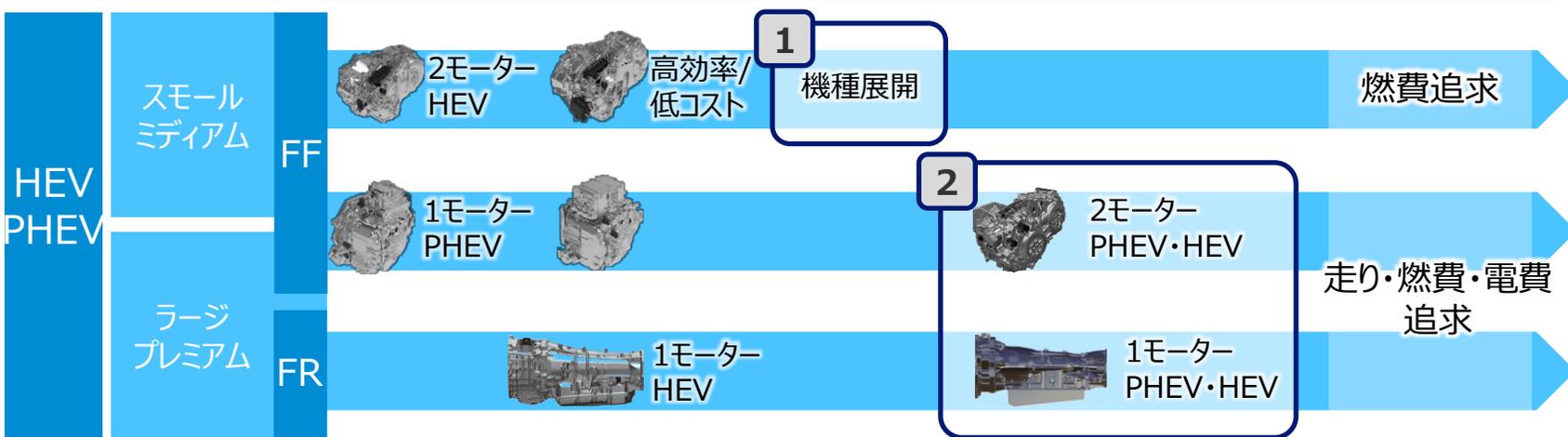
幅広い商材で走りの魅力・安全性・電費向上に貢献

PHEV/HEV製品戦略

PHEV/HEVのラインアップ

スモールからラージ・プレミアムまでの幅広いラインアップを有する、
グローバルPHEV/HEVサプライヤー

2020 2025 2030



- 1 標準形ユニットをベースに得意先要望や市場ニーズに適合した機種を開発
- 2 走り・燃費・電費をさらに追求した次世代PHEV製品の開発

グローバル生産体制

日本・北米・中国・タイでの
生産体制



25年度に北米拠点での生産準備が一巡し、HEVユニットの増産本格化

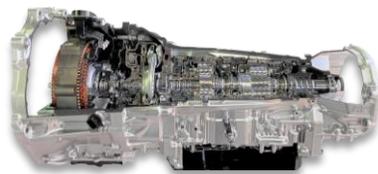
幅広い製品ラインアップとグローバル生産体制を強みにさらなる事業拡大を目指す

PHEV/HEVの拡販

拡販状況



トヨタ自動車(株)「ランドクルーザー"250"(北米仕様)」



FR1モーターハイブリッド
トランスミッション



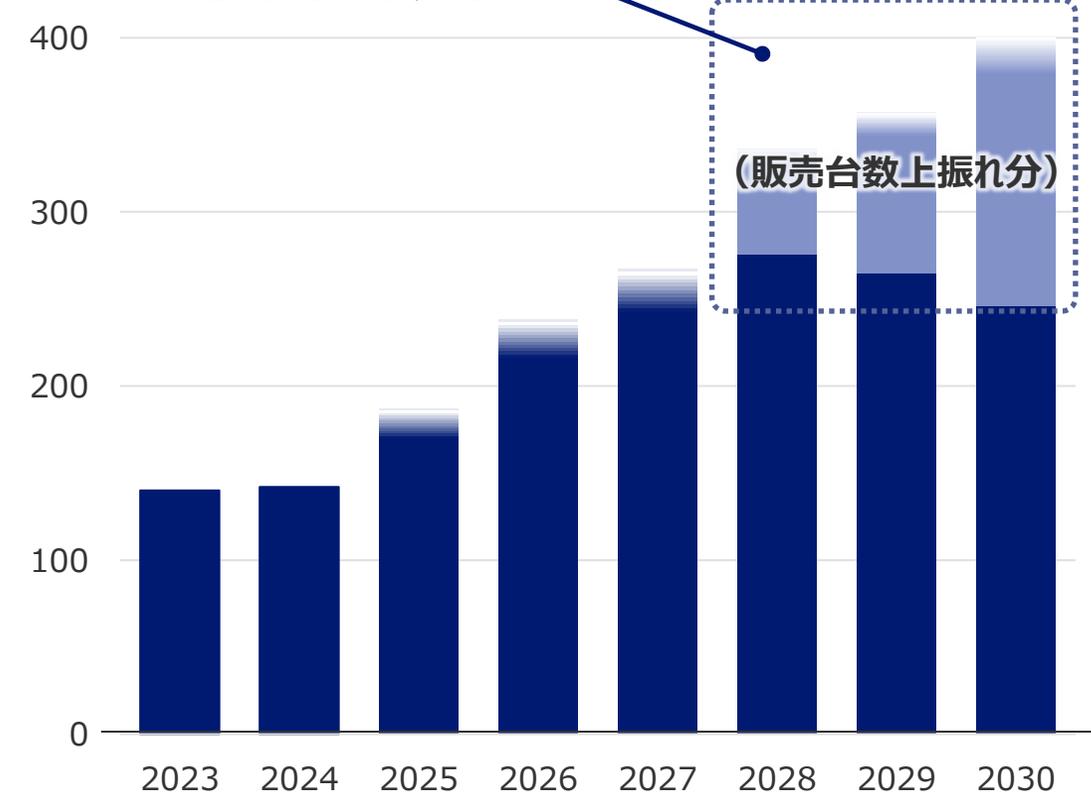
三菱自動車工業(株)「エクスポース」HEV



ハイブリッドユニット

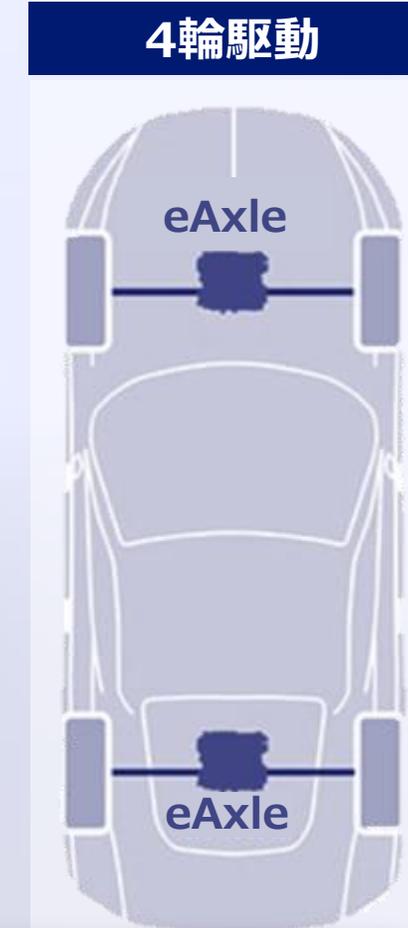
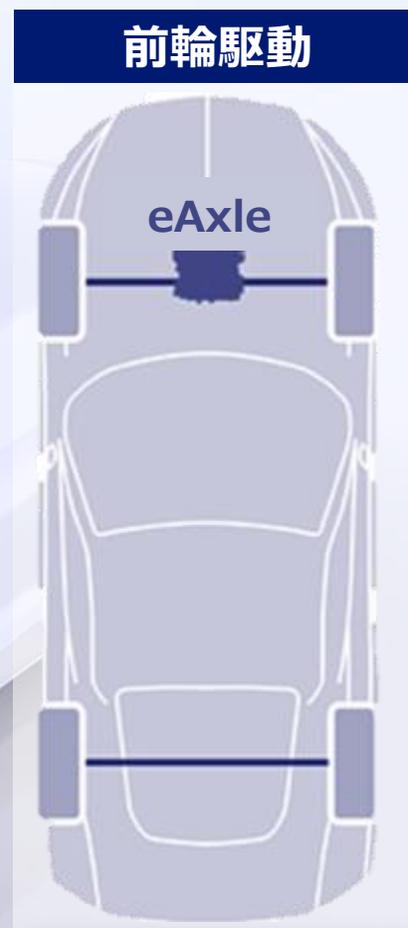
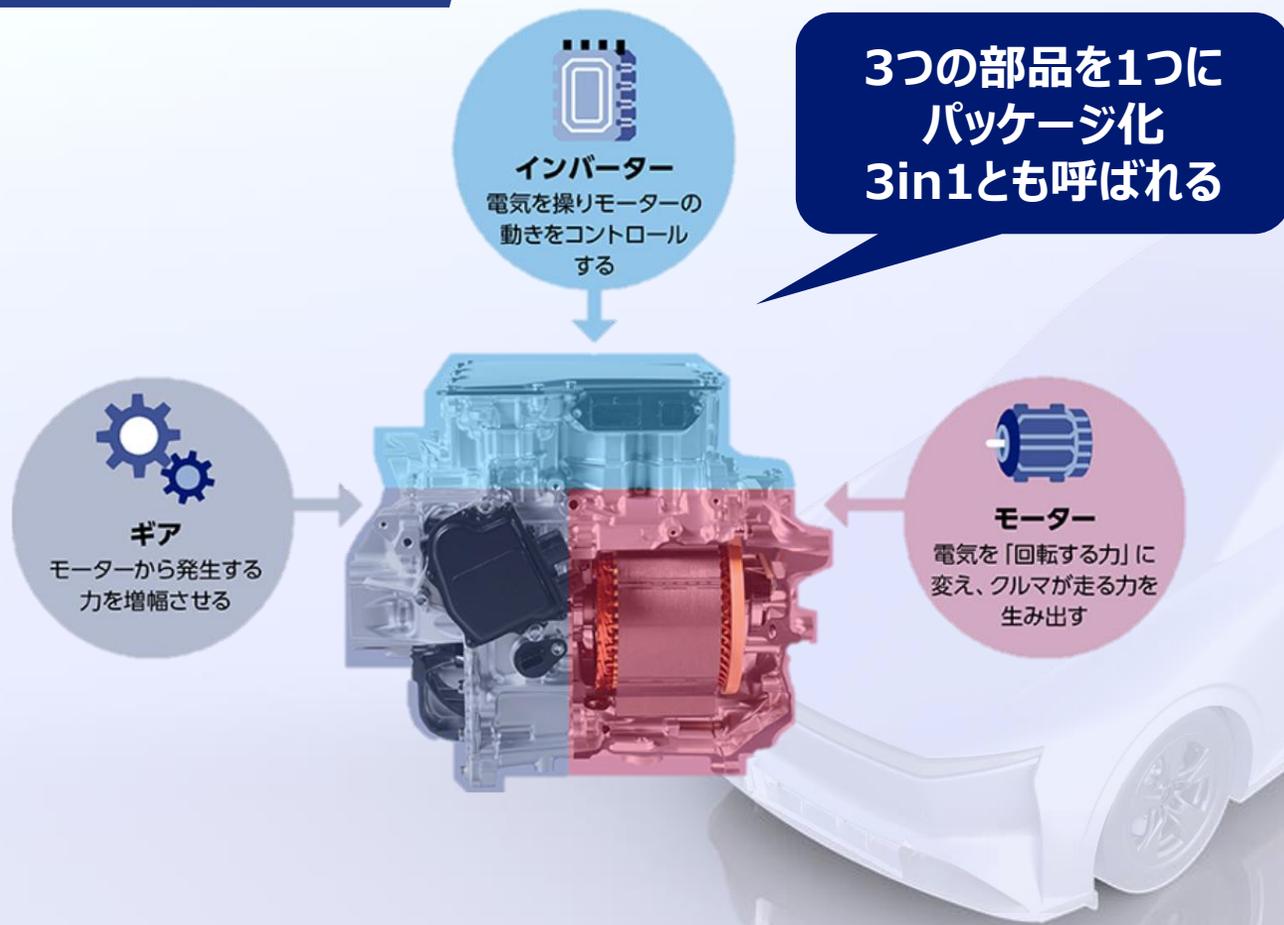
販売台数見込み

(万台) PHEV/HEV回帰で現中期経営計画公表時点から
販売台数が大きく上振れ



足元での引き合い増加を背景に、30年に向けて販売台数が大幅に拡大(24年比 約3倍)

eAxleとは



オートマチックトランスミッションで培った技術・工法を活用

eAxleをフロント・リアに搭載することで4輪駆動（4WD）に

BEVをはじめとしたモーターを主動力とするクルマに必要不可欠な駆動ユニット

電動駆動モジュールの進捗

SUBARUと次世代電動車両用電動駆動モジュール※ に関する協業を開始（24/3/12発表）



SUBARUが2020年代後半から
生産開始するバッテリーEVに
搭載する電動駆動モジュールを
共同開発・分担生産することに合意

※駆動モーターとギアボックス

アイシンとBMWが「e-axle」※の 生産パートナーシップを合意（24/7/31発表）

BMW

×

アイシン

生産パートナーシップを合意
(アイシンの中国・チェコ拠点で生産予定)

BMWが設計する「e-axle」の受託生産
に関して協業していくことに合意。
2020年代後半、中国およびチェコでの
生産開始を計画

※当社は駆動モーターとギアボックスを担当

スズキ初のバッテリーEV「e VITARA」にeAxle採用 (25/1/31発表)

当社、BluE Nexus、デンソーで共同開発した
eAxleが、スズキ初となるバッテリーEVの
量産モデル「e VITARA」に搭載

車両生産を行うスズキ・モーター・グジャラート社と
同じインド国内で生産し、BluEのインド法人である
BluE Nexus Automotive India Pvt. Ltd.
から供給

これにより、スズキの市場ニーズに合わせた
世界各国でのBEV展開に貢献します

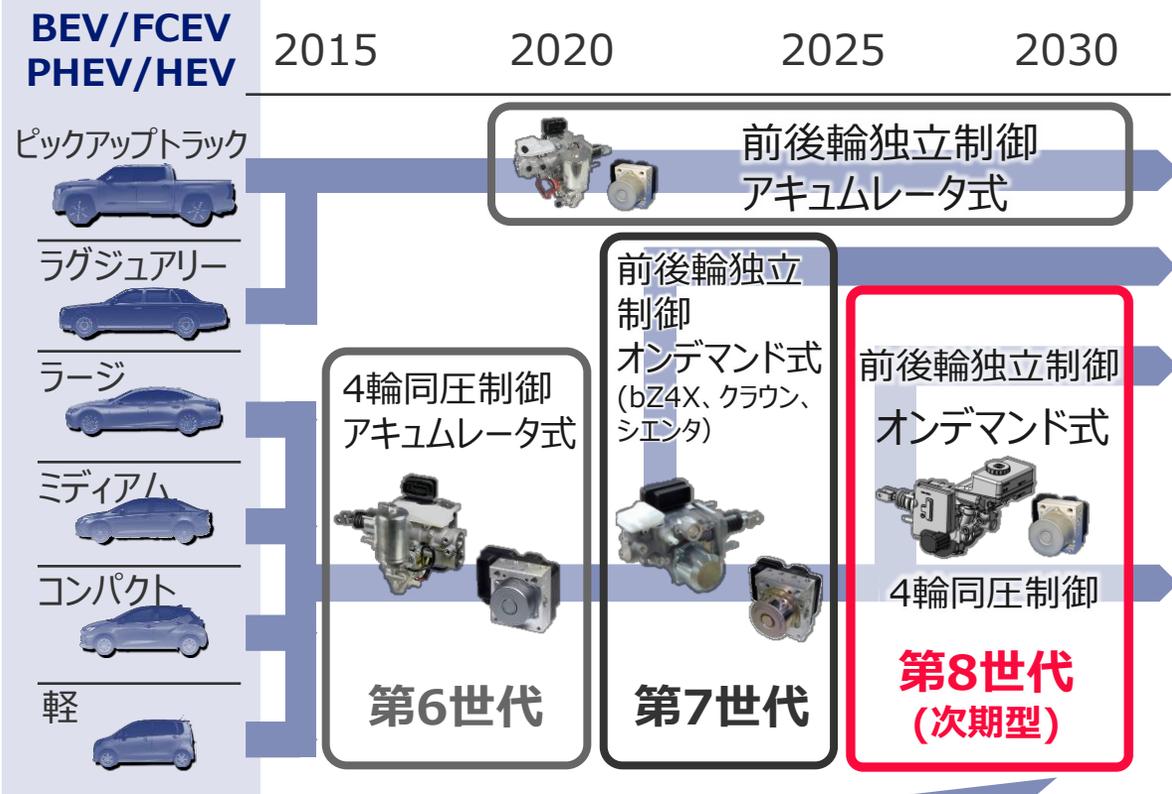


e VITARA向け eAxle

カーメーカーとの協業や次世代電動化事業関連製品の開発加速に向けた提携等着実に進捗

ブレーキのロードマップと戦略

回生協調ブレーキロードマップ



構造の簡素化により海外生産が容易になり低コスト化も実現
日本以外の地域での拡販・収益強化に大きく貢献

戦略

拡販・収益向上

基本・制御のブレーキ部品と、ソフト開発力を併せ持つ強みを活かす

- 制御ブレーキ
第8世代回生協調ブレーキ投入による競争力向上
- 基本ブレーキ
電動パーキングブレーキ、対向キャリパ等
高付加価値商品の拡販

生産

アイシングループの拠点も活用し効率的な体制を構築

BEV・HEV市場の拡大を取り込み第8世代 (次期型) 投入で拡販・収益強化をめざす

車両統合制御

ブレーキ

ナビ

電費

快適

電動ユニット(eAxle)

車両統合制御

熱マネジメントシステム

安全

走り

空カデバイス

ARS・AVS

アイシングループの商材を組み合わせ、車両統合制御によりクルマの価値を向上

安心・快適エントリー

ストレスフリーエントリー（ユニバーサルデザイン/誰でも安心）

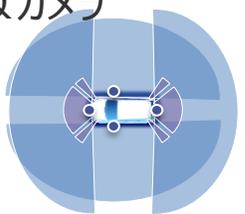


ヒトとクルマを周辺監視技術・ドアシステムでつなぐ



周辺の安全確認

ソナー & カメラ



操作レスでチェックイン

デジタルキーシステム



状況に合わせた先読み機能

車室外センシング



狭い場所でも楽々乗車

大開口ドアシステム



快適移動空間

車室内センシング



認知・判断・動作の一連を統合し、「ストレスフリーエントリー」「快適移動空間」を実現

1. 企業紹介

2. 30年に向けた成長戦略

3. 企業価値向上に向けて

3

バランスシート改革

事業資産

事業資産圧縮
(累計*1 1992億円資金創出)

1,000億円以上圧縮

『託す』事業の譲渡推進と
既存事業資産の徹底した圧縮

パートナーへ譲渡

- ・シート事業
- ・シャワートイレ事業
- ・エクセディ資本関係解消
- ・他プロジェクト（活動中）

低効率資産の早期圧縮

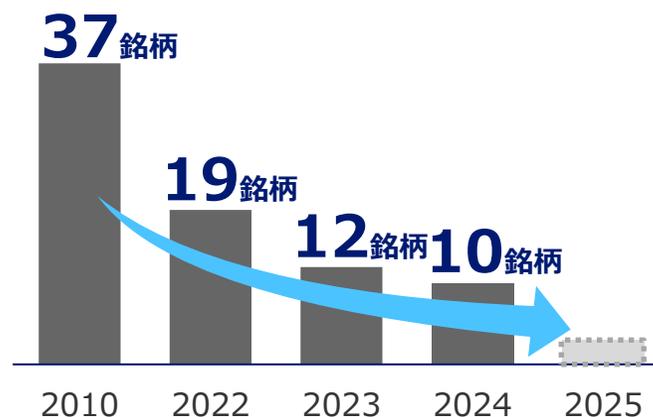
- ・余剰資産の構造改革
- ・生産法人統廃合（活動中）

政策保有株式

政策保有株式売却を実行
(累計*1 1,155億円資金創出)

1,000億円以上売却

ゼロ化を目指す

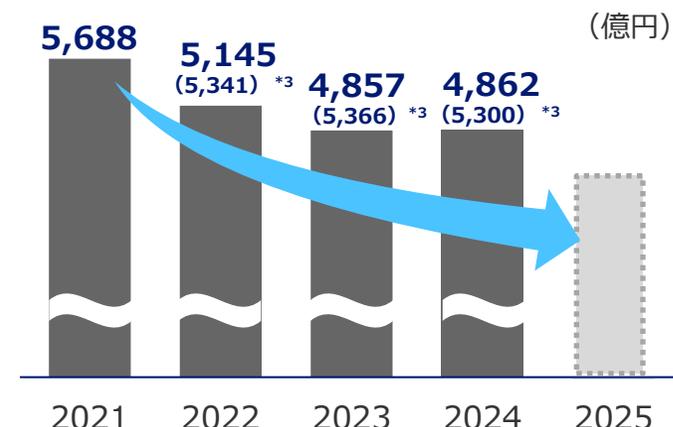


グローバル在庫

グローバル在庫圧縮
(21年度比826億円資金創出*2)

1,000億円以上圧縮

25年度末までに
コロナ前水準まで圧縮

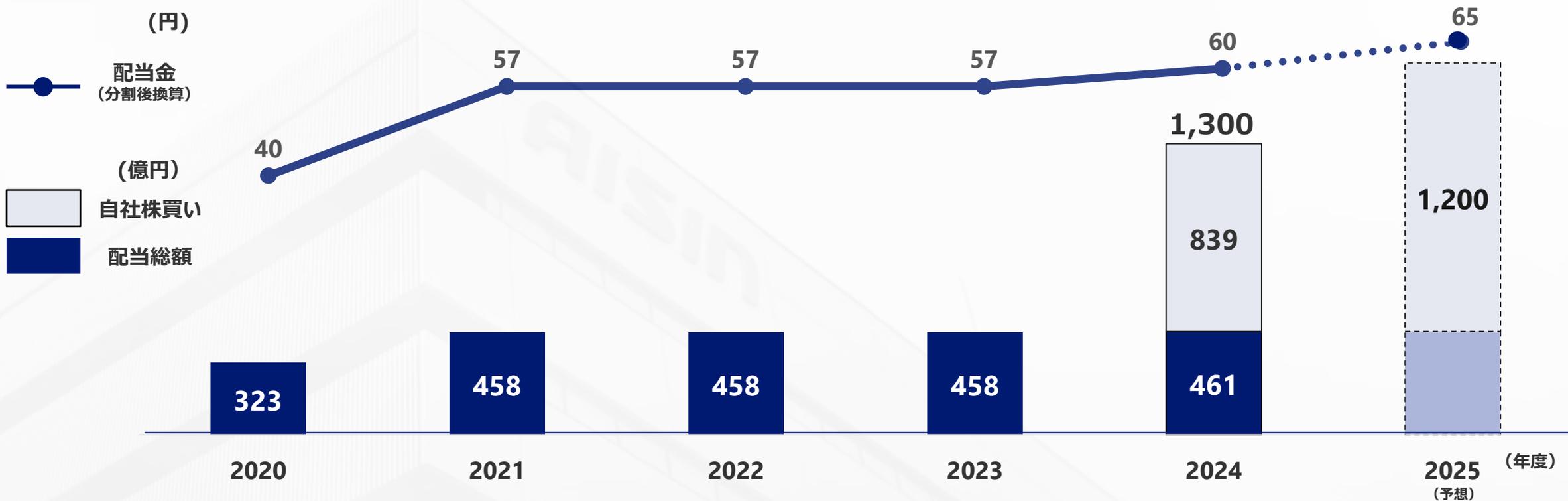


*1 23年度から当期までの累計 *2 21年度為替レート前提 *3 () 実績為替レート前提

25年度までに総資産の10%（4,000億円）を目標に保有資産圧縮を推進

株主還元

個人投資家の皆様がより投資しやすい環境を整えるため、**24年10月に株式分割実施**
25年度の1株当たり年間配当額及び総還元額は過去最高を予定



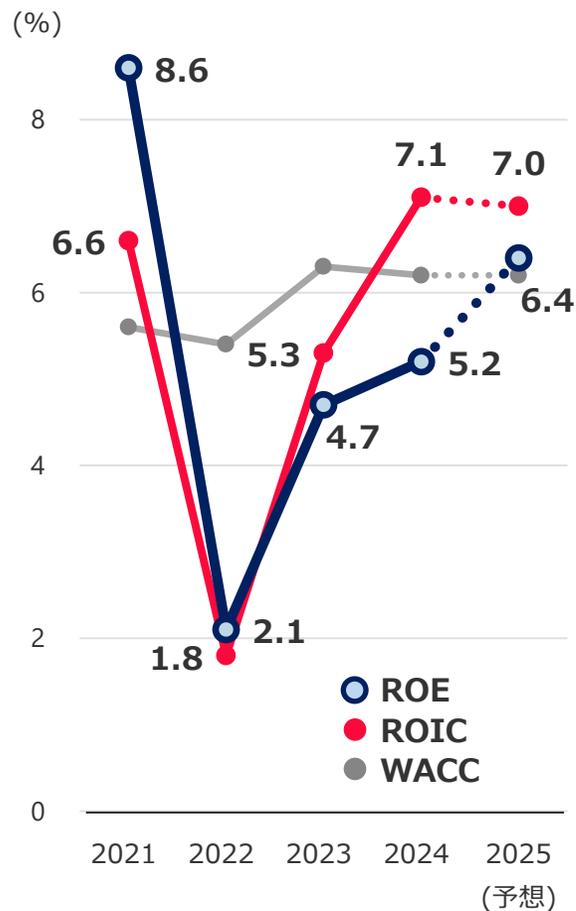
配当性向	31%	32%	122%	51%	43.5%	-
総還元性向	31%	32%	122%	51%	121%	-
配当利回り※	2.9%	4.1%	4.7%	2.7%	3.7%	-

安定的・継続的な株主配当及び機動的な株主還元を実施

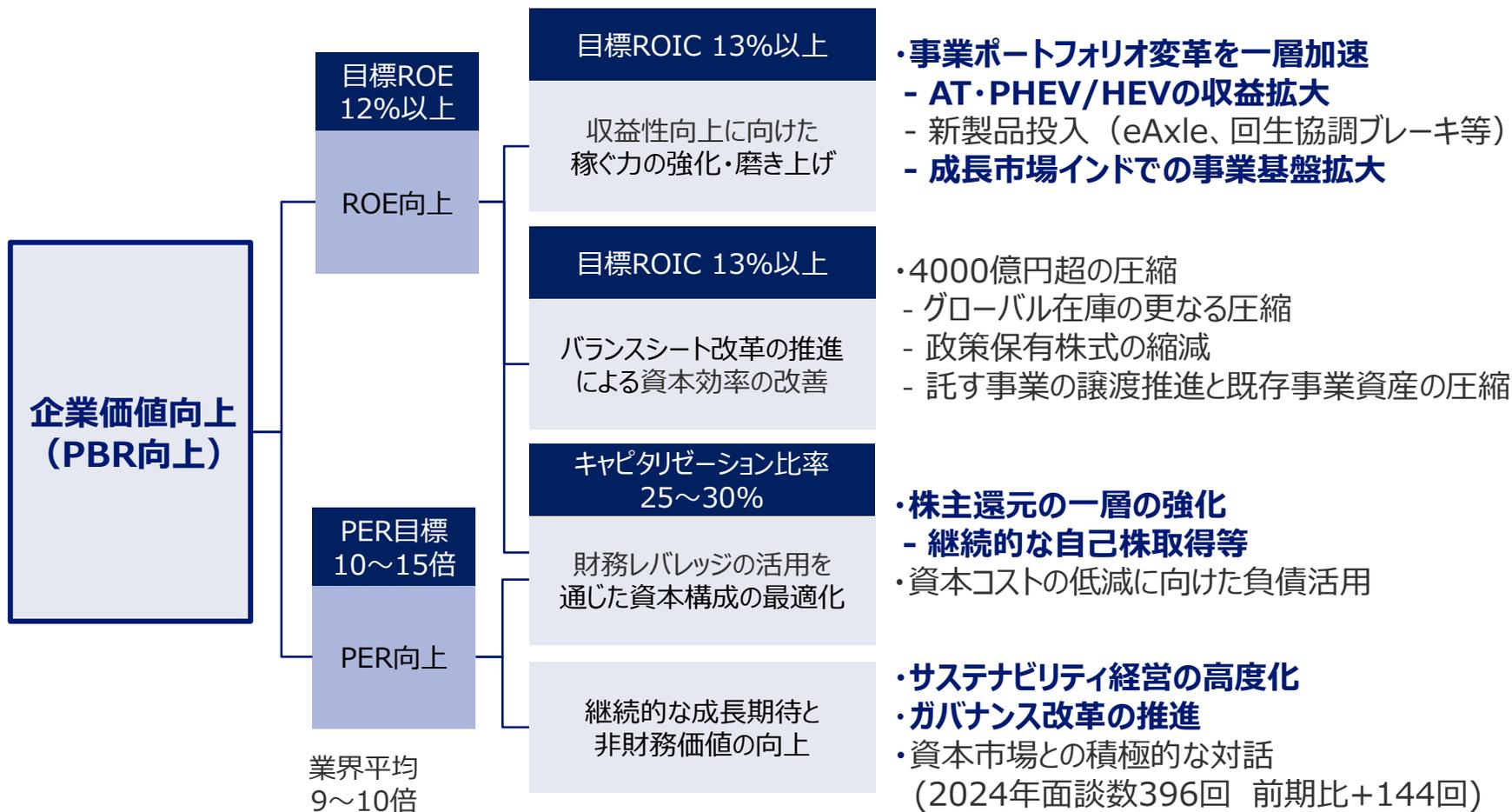
※: 配当利回り=1株当たり年間配当金÷株価(期末)

企業価値向上に向けて

ROE/ROIC推移



企業価値向上に向けた取り組み



ROE・PERの向上を通じて、早期にPBR1倍超を目指す

本日のまとめ

Point 01

アイシンは、世界トップシェアの製品を複数保有し、クルマの「走る・曲がる・止まる」を支えるグローバルサプライヤー

Point 02

当面は、AT、HEV向けパワートレインユニットの収益が拡大。
電動化・知能化を中心とした成長領域への取り組み強化を通じて
事業ポートフォリオを変革し、30年目標の達成を目指す

Point 03

企業価値向上に向けて、事業の収益性向上、バランスシート改革の
推進、財務レバレッジの活用等を進め、早期にPBR1倍超を目指す

個人投資家様向けIRホームページのご案内

個人投資家の皆様へ

個人投資家・株主の皆様
アイシンのことをより深くご理解いただくための
情報をご案内します。



アイシンってどんな会社？



3分でわかるアイシン



会社紹介映像



アイシンの強み

↓ ホームページリンク

[個人投資家の皆様へ | 株式会社アイシン 公式企業サイト \(aisin.com\)](https://www.aisin.com)

決算報告や統合報告書をはじめとした役立つ情報を掲載

もっとアイシンを知りたい方へ



AI Think(アイシンク)

アイシンの今と未来への取り組みを
伝えるメディア「アイシンク」



タツヲが行く!

シーホース三河所属タレント「タツヲ」が会社を紹介



コムセンター

愛知県刈谷市にあるアイシンの展示館



情報ライブラリー

会社を映像や資料で紹介



AISIN SPORTS

アイシンが応援するスポーツ



【将来の見通しに関する注意事項】

当社が開示する業績予想、将来の見通し、戦略、目標等のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は将来の見通しに関する記述であり、これらは、当社が現時点で入手している情報および合理的であると判断される一定の前提に基づく計画、期待、判断を根拠としております。したがって、実際の業績等は、経済情勢等様々な不確定要素の変動要因によって、開示した業績予想等と異なる結果になる可能性があります。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社および当社の従業員等は一切責任を負いません。